

徳島県新災害時情報共有システム 構築及び運用保守業務

情報提供依頼書

令和7年6月3日

徳島県 危機管理部 防災対策推進課

目 次

1	業務概要	1
1.1	業務名	1
1.2	概要	1
1.3	方針	1
1.4	スケジュール	2
1.5	契約期間	2
1.6	調達範囲	2
2	情報提供依頼内容	3
2.1	記載依頼事項	3
2.2	提出期限	4
3	システム概要	4
3.1	システム概要図	4

1 業務概要

1.1 業務名

徳島県新災害時情報共有システム構築及び運用保守業務

1.2 概要

徳島県（以下、「県」という。）は、災害時の情報共有基盤である災害時情報共有システム（以下、「防災システム」という。）を平成 25 年度から運用開始し、必要に応じて機能強化等を行ってきた。

激甚化・頻発化する豪雨災害や南海トラフ巨大地震など、あらゆる災害から県民の「生命や財産」を守るため、県の災害対応力強化につながる最適なシステムに刷新する必要があることから、新防災システムの構築に係る入札準備を進めている。

1.3 方針

以下の事項を踏まえ、災害発生時の迅速な被害情報収集・集約を可能とするとともに、県及び市町村の災害対応の高度化及び円滑化を実現する新防災システムを構築する。

- ① システム連携の強化
 - ✓ 県内市町村が導入している総合防災システムとの自動連携を通じた、災害時におけるマンパワー不足の補完
 - ✓ 国の新総合防災情報システム（SOBO-WEB）との連携
 - ✓ 県ホームページ、安心とくしま、県公式 SNS（LINE、X 及び Facebook）等との連携を通じたタイムリーな情報提供
- ② ユーザーインターフェースの向上
 - ✓ 現在のモードを視覚的に判別しやすい画面構成
 - ✓ 複合災害時において被害情報等の整理がしやすい画面構成
 - ✓ スマートフォン等での操作性向上
 - ✓ 入力頻度が高い機能の使いやすさ向上
 - ✓ 迅速に正確な情報を入力しやすい仕様を採用
- ③ 機能性の向上
 - ✓ 入力内容の仮登録機能を追加
 - ✓ 災害対応における意思決定に必要な情報の分析機能を追加
 - ✓ アクセス集中等によるシステムダウンの回避
 - ✓ データの読み込み等が円滑にできるアルゴリズムと処理能力
- ④ システムの発展性
 - ✓ 運用後においても、新たなニーズに柔軟に対応できる設計
- ⑤ 誤発信防止
 - ✓ 市町村防災訓練での活用状況を踏まえ、訓練時モードとの連携の在り方を検討
 - ✓ 段階的に入力内容の確認ができる機能を追加
- ⑥ その他
 - ✓ 平時に入力訓練等ができるよう基本操作ガイド等の作成
 - ✓ システムの構築費用に対する国の支援策等の活用検討

1.4 スケジュール

令和 8 年度より本番稼働するものとし、令和 13 年度までの 5 年間を運用保守期間とする事を想定している。

	R7 年度	R 8 年度				R 9 年度				～	R13 年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
設計											
構築											
テスト・移行											
運用保守											

図 1 【スケジュール】

1.5 契約期間

本調達に含める契約期間については、以下の通りとする。

契約期間：契約日～令和 14 年 3 月 31 日

1.6 調達範囲

新防災システムでは、近年、他の都道府県でも導入実績が増え続けている汎用パッケージによるクラウド型のシステムを導入することを想定しているが、庁内を含めた各種連携先システムとのデータ連携機能も含め、調達範囲とする。

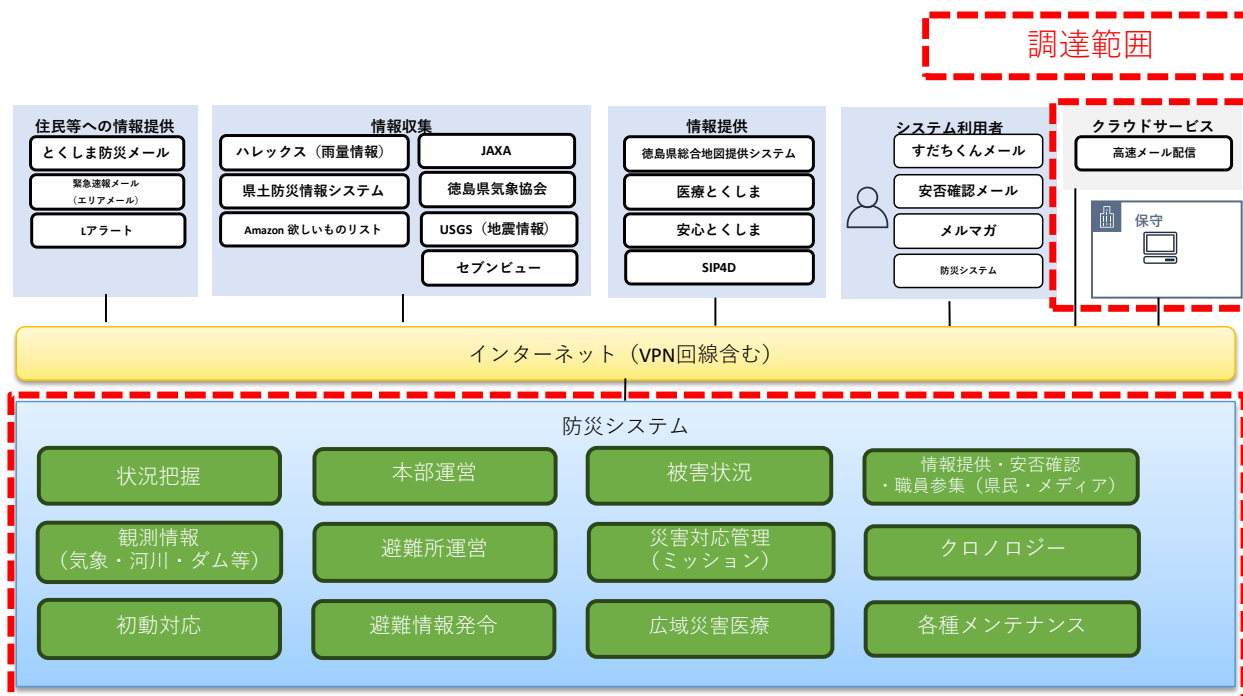


図 2 【調達範囲】

2 情報提供依頼内容

2.1 記載依頼事項

下記の事項について情報提供を求める。

回答にあたっては、「情報提供依頼（回答様式）」と各様式を用いて記述すること。

表1【記載依頼事項】

1. システム構築方針	
1.1 基本方針	貴社が提案するシステムにより、「1.3 方針」に記載の県の目指す姿をどのような形で実現する事を考えているかなど、基本的な考え方を記述すること。
1.2 提案するシステムの特徴	・システムの概要、機能、特徴を記述すること。 ・システムの全体像について概要図などを用いて、システム構築範囲を明確に記述すること。 ・貴社が提案するシステムにおいて、他社にはない優位性や特徴、県への有益な効果やアピールポイントがあれば、記述すること。 ・新防災システムに求める機能以外に、県にとって有益と思われる機能がある場合には、内容を記述すること。
1.3 導入事例	・新防災システムに類似するシステムに関して、貴社の導入事例について記述すること。 ・導入事例については、システムの全体像の概要図などを用いて、当局が求める機能のどの範囲にあたるかを明確に記述すること。 ・パッケージを適用する場合は、その実績を記述すること。 (貴社導入外の事例も含めて良いが、その旨が分かるように記述すること)
2. システム要件	
2.1 機能一覧	・提案するパッケージの機能一覧・機能概要を記述すること。ただし、機能数が多い場合は別紙等での提出も認める。
2.2 機能の実現方法	システム機能要件に記載されたうち、下記機能を実現する方法について、「様式2 機能説明」に機能イメージを記述すること。 ・状況把握 ・観測情報 ・本部運営 ・初動対応 ・避難所運営 ・避難情報発令 ・被害状況 ・災害対応管理（ミッション） ・広域災害医療 ・情報提供・安否確認・職員参集 ・クロノロジー ・各種メンテナンス
2.3 システム構成	貴社が提案するシステム構成イメージ（特にオンプレミス方式か、クラウドか。またクラウドの場合はどのようなクラウドを利用するのか）を提案ください。
3. 構築要件	
3.1 構築スケジュール	各工程別の構築スケジュールおよび工数を「様式3 工程別スケジュール」に記述すること。

4. 費用		
4.1 初期導入費用・運用保守費	初期導入費用・運用保守費に関する費用を「様式4 見積表」に記述すること。 機器およびラック構成は「様式5 機器・ラック構成」に記述すること。	
4.2 費用に関する考え方	・パッケージ・ミドルウェアを利用する場合のライセンスの考え方及び、追加費用が発生する条件について記述すること。	
5. 前提事項・依頼事項		
5.1 前提事項	構築および運用保守を行うにあたって、前提事項を「様式6 前提事項・依頼事項」に記述すること。	
5.2 依頼事項	構築および運用保守を行うにあたって、県が実施すべき事項について「様式6 前提事項・依頼事項」に記述すること。	

また、本仕様にとらわれずに、県にとって望ましいと思われる提案がある場合は、回答書にて記載を求める。また、本仕様に記載している事項で、実現が困難と想定する内容については、様式6の前提事項に記載すること。

2.2 提出期限

令和7年6月20日 午後5時

3 システム概要

3.1 システム概要図

現行の防災システムに係る全体概要図を下記に示す。

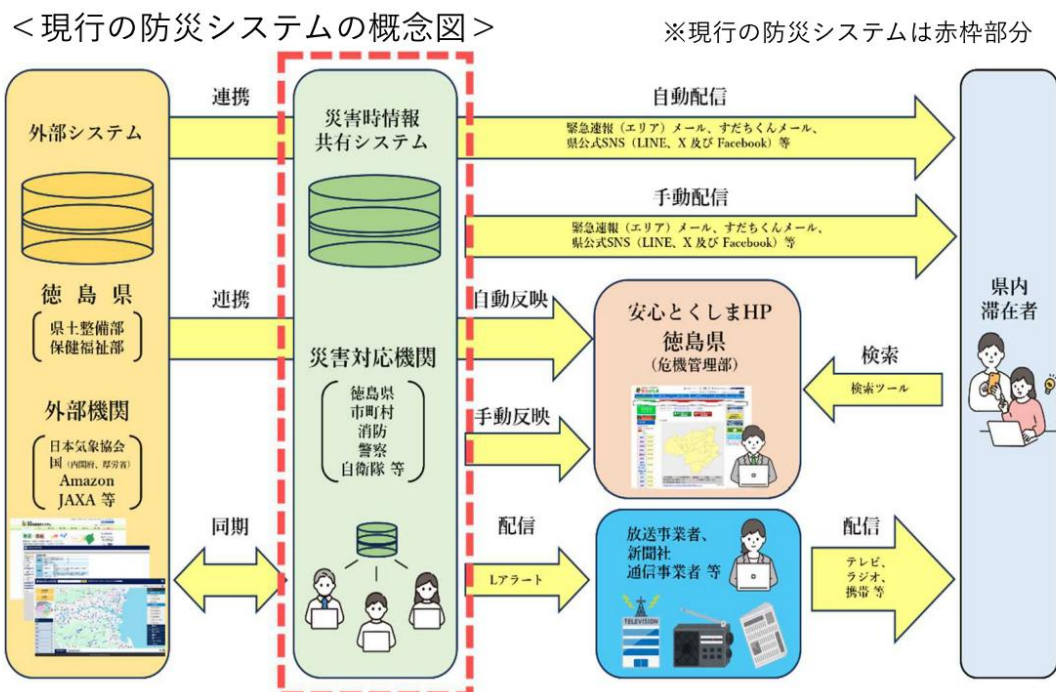


図3【システム概要図】

以上